

# 「事業名：『環境エネルギーまちづくり』を通じた地域社会イノベーション」 2019年度事業の概要

**東京大学 連携市町村：新地町**  
**現地拠点：相馬郡新地町新地町役場内(3階301号室)**

## 事業のポイント

福島県新地町において、地域エネルギーシステムの将来ビジョン構築、社会動態分析とニーズ把握に基づく定住環境検討、それらを統合した共創型地域マネジメントを、公・民・学連携のまちづくり拠点「新地アーバンデザインセンター」(UDC新地)を設立して実践する。これにより、「環境エネルギーまちづくり」のモデルを形成する。

## 2019年度の活動内容

- UDC新地の運営を通じた新地駅周辺地域の整備支援 / 拠点を活用した人材育成や住民との交流機会の創出
- 地域エネルギー・モニタリングデータ(住宅、工場、事業所、等)と気象観測データの解析 / 新地町の実情を反映したエネルギー消費量予測モデルの構築とエネルギー供給の潜在量評価 / エネルギー需給マッチングにむけたデマンドレスポンス実証実験
- 大学院生のフィールド演習実施を通じた、地域に固有のニーズやまちづくり課題の把握と検討

## 取り組みによって得られる成果

- 新地駅周辺のまちづくり・賑わいづくりの支援 / 地域のニーズを反映した学生による現地活動の実施
- 地域の実態を反映したエネルギービジョンの構築
- 低環境負荷でレジリエントな地域の将来ビジョンの提案



### ① UDC新地運営

- 駅周辺まちづくり支援
- 学生と地域住民の交流の機会創出
- 中高校と連携した地元人材育成ワークショップ実施



拠点活用(成果の発信、  
フードバック)

交流を通じた学びの場

### ② エネルギービジョン構築と担い手育成

【データ解析】  
地域エネルギー消費/気象観測データ⇨消費モデル構築、供給潜在量評価  
【実証実験】  
デマンドレスポンス

### ③ サステナビリティ学に基づくまちづくり

【プロジェクト演習】  
インタビュー調査、地域行事への参加、等  
【将来ビジョン】  
社会ニーズ調査と地域とのビジョンの共有

連携・成果共有

駅前にごわい創出 まちづくりと地域エネルギーの将来ビジョン構築

活動の継続⇨新地モデル確立と浜通り市町村への復興知展開へ